

第6次基本計画 (令和2年度実施状況)

施策評価表

第2節 5つのまちづくりの目標に関する取組

第5 安全・安心で快適に暮らすまち

1 快適な生活環境の整備

基本施策 29 まちなかの活性化

基本施策 30 居住環境の充実

基本施策 31 上水道の整備・健全な維持管理

基本施策 32 下水道の整備・健全な維持管理

2 利便性の高い交通環境の整備

基本施策 33 道路の整備

基本施策 34 公共交通の充実

3 安全・安心な市民生活の確保

基本施策 35 消防・救急体制の充実

基本施策 36 防災体制の充実

基本施策 37 河川・海岸の保全と河川環境整備

基本施策 38 交通安全の推進

基本政策 39 防犯対策の推進

基本施策 40 消費生活の安定

基本施策29 まちなかの活性化

現況と課題

モータリゼーション（自動車が生活必需品として普及すること）の進展や郊外型大型店舗の出店、まちなかの居住人口の減少、消費者ニーズの多様化等の影響により、まちなかの魅力は大きく低下しています。また、人口減少・超高齢社会という時代の大転換期を迎え、今後は将来を見据えた「持続可能なまちづくり」を目指していく必要があります。都市機能の拡散傾向に歯止めをかけ、多くの人が暮らしやすい、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めていかなければなりません。

まちなかは、多様な都市機能が集積し、公共交通の結節点としての役割も担い、まちの核としての機能を持つ「苦小牧の顔」と考えられます。今後は、「まちなか再生総合プロジェクト（GAP）」に基づき、歩いて暮らせる生活空間としての機能を更に充実させ、まちなか独自の魅力の創造、にぎわいの創出を図る取組を進めていきます。

基本目標

「苦小牧の顔」であるまちなか独自の魅力の創造、にぎわいの創出を図り、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまち」、地域の特徴をいかした「誇りと愛着が持てるまち」を目指した、まちづくりを進めていきます。

関連する個別計画

- ・まちなか再生総合プロジェクト（GAP）プログラムパート3（平成29～31年度（2017～2019年度））

主要施策

1 にぎわいの創出

SDGs
17の目標



施策番号	各種団体や将来のまちづくりの担い手である子ども、若者、子育て世代とともに日常的なにぎわいの創出に努めます。
2512911	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	○子ども・若者まちづくり参加推進事業 (苦小牧工業高等学校の生徒と商店街が連携し、ポケットパークの花壇整備やイルミネーション装飾を実施)						
	○子ども・子育て世代まちなか居場所づくり支援事業 (子育て世代のお母さんたちの団体「できることからはじめのいっぽ-IPP0-」による、SNSやwebを活用したフォトコンテスト、北海道や苦小牧市主催の各種会議への出席、子育て情報サイトの更新)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなかの歩行者通行量(平日)	人	16,200	19,770	15,416		
	まちなかの歩行者通行量(休日)	人	12,553	13,674	12,088		
	公共・公益施設入込数	人	367,645	339,888	208,640		
今後の取組の方向性	今後も、商店街、子ども達や若者、子育て世代などが本市のまちづくりに参加できるイベントや事業を開催しにぎわいに繋げ、気軽に足を運べるまちなかを目指します。						

1 にぎわいの創出

SDGs
17の目標



施策番号	苦小牧市まちなか交流センター（通称COCOTOMA：ココトマ）やまちなか交流館といった既存の拠点施設や商店街との連携、ネットワークによる人の流れづくりに取り組みます。
2512912	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>○ココトマの管理運営（各種イベントの開催、地産地消メニューの提供等） ○駅前イルミネーション事業（苦小牧駅前商店街や苦小牧飲食店組合等と連携した「とまイルまちなか抽選会」の開催、苦小牧バーテンダーズ倶楽部とタイアップを図り「TBC Winter Fair」を開催し、とまイルをイメージした商品を販売）</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなかの歩行者通行量（平日）	人	16,200	19,770	15,416		
	まちなかの歩行者通行量（休日）	人	12,553	13,674	12,088		
	公共・公益施設入込数	人	367,645	339,888	208,640		
今後の取組の方向性	<p>ココトマを幅広い世代の人々が利用できる交流拠点とし、まちなかの魅力発信やにぎわいの創出を図ります。また、まちなかの施設や商店街と連携したウォーキングスタンプラリーやまちゼミ等を開催し、まちなかにおける市民の周遊を促すとともに、個店のPRを行い、日常的なにぎわいの創出につなげます。</p>						

2 公共交通の利便性の向上

SDGs
17の目標



施策番号	まちなかにおける公共交通の利便性の向上を目指すため、各種事業者と連携し、若者の発想やアイデアをいかした魅力づくりに取り組み、課題の解決、利用者満足度の向上に努めます。
2512921	

担当部・課	総合政策部まちづくり推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>毎月のバス事業者との「運行会議」において、市内バス事業における情報共有及び課題の解決、利用者満足度の向上に向けた協議を行いました。 例年、公共交通の利用促進策として、バス事業者及び市内高校等が連携してギャラリーバスを運行し、市の後援及び各種媒体で周知を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業の実施を見送りました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	利用者数（市立病院港町循環線）	人	35,731	25,800	24,986		
今後の取組の方向性	<p>現在実施している事業の継続と更なる事業展開に向けて、バス事業者等と協議しながら、まちなかの活性化に向けた事業を推進します。</p>						

3 まちなか居住の推進

SDGs
17の目標



施策番号	様々な都市機能が集積しているまちなかに暮らしやすい生活空間の整備を進めます。
2512931	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>○まちなか居住支援事業（まちなか定住人口の増加を目指すため、CAP対象区域に賃貸住宅を建設する事業者に対し、建設に係る費用の一部を助成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸住宅建設補助金申請（1棟9戸）を受理し、900万円交付 ・ 宅建協会会員向けにまちなか居住のニーズや補助事業の内容についてアンケートを実施 ・ 交付要綱、認定基準の変更（条件の緩和） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなか居住人口	人	5,887	5,844	5,682		
今後の取組の方向性	<p>今後も暮らしやすいまちなかを創出するため、不動産事業者等へ居住ニーズ調査を行い、効果的な施策を検討します。</p>						

基本施策30 居住環境の充実

現況と課題

公営住宅については、道内主要都市と比較して高い供給量にある一方で、老朽化が進んでいる状況にあります。人口減少や少子高齢化の進行、財政状況を鑑み、建替えや既存ストックの長寿命化を図りながら、管理戸数の適正化を進める必要があります。

民間住宅については、リフォームに対する需要が高く、今後もリフォーム支援を継続していく必要があります。

空き家については、管理不全により周辺環境や地域住民へ悪影響が出てきている事例がみられ、その対策は喫緊の課題となっています。空き家数や管理状態把握を行い、啓発活動による空き家化の予防や安全対策など、空き家等対策を推進していく必要があります。

公園・緑地の整備については、道路緑化の推進などにより、良好な緑化環境が整ってきています。一方、ニーズの多様化によりユニバーサルデザインや防災機能に配慮した施設整備を行うとともに、老朽化施設の計画的な改築・更新を図っていく必要があります。

基本目標

公営住宅の整備・改善及び適正な管理戸数の確保を行うほか、民間住宅のリフォームや耐震改修等の支援を行います。また、管理不全状態の空き家等所有者に対して適切な管理を促し、地域環境の保全を図るとともに、空き家化の予防や解消に努めます。さらに、公園・緑地を核として、海・山・丘陵地、河川や道路を活用し、緑のネットワークの強化を図るほか、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地の整備を進めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市営住宅整備計画
- ・ 苫小牧市営住宅長寿命化計画
- ・ 苫小牧市住生活基本計画
- ・ 社会資本総合整備計画
- ・ 緑の基本計画

主要施策

1 公営住宅の整備

SDGs
17の目標



施策番号	老朽化している公営住宅の建替えや既存ストックの長寿命化を図り、適正な管理戸数の確保に努めます。
2513011	

担当部・課	都市建設部 住宅課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	1 日新町市営住宅（新10号棟）の新築工事（2/2年目） 2 日新町市営住宅（新9号棟）の新築工事（1/2年目） 3 日新町市営住宅（新10号棟）の駐車場整備工事 4 日新町市営住宅（4-11-5, 6, 7）の解体実施設計 5 日新町市営住宅（新8号棟）の新築実施設計 6 日新団地及び末広団地の建替えに伴う入居者移転を実施						
	評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	市営住宅管理戸数	戸	7,113	7,009	7,069		
今後の取組の方向性	第6次基本計画では、苫小牧市営住宅整備計画等の個別計画に基づき、時代の変化に応じた住宅供給を推進していきます。 多様な家族構成に適應した規模・設備の住宅供給を目指すとともに、財政状況を鑑みつつ、長寿命化を図るべき住宅と建替えや用途廃止を実施すべき住宅を適切に選定し、今後の管理戸数の適正化に取り組んでいきます。						

1 公営住宅の整備

SDGs
17の目標



施策番号	居住の快適性、安全性の向上を図るとともに、高齢者や障がい者の居住環境に配慮します。		
2513012			
担当部・課	都市建設部 住宅課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>1 既存住宅の長寿命化に資する改善工事及び設計業務 (1) 大成町市営住宅(1-9-1)東面外部等改修工事 他2棟の改修工事を実施 (2) 住吉町市営住宅(2-3-2)の昇降機設備改修工事を実施 (3) 大成町市営住宅(1-1-1)の外部等改修工事実施設計を実施 2 日新町市営住宅(3-2-2)ほか14棟の住宅用火災警報器取替業務を実施 3 車椅子専用住戸の整備やユニバーサルデザインを導入した日新新9号棟の建設着工</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	既存住宅の改修・修繕は、老朽化による優先度や財政状況等により変動する可能性があることから、評価指標を設定することはできませんが、令和2年度の取組については上記のとおりです。						
今後の取組の方向性	第6次基本計画では、苫小牧市営住宅整備計画等の個別計画に基づき、時代の変化に応じた住宅供給を推進していきます。 誰もが安心・安全な環境で暮らせるように、財政状況を鑑みつつ、既存住宅の計画的な維持管理を行い、利便性の向上を図っていきます。						

2 民間住宅支援

SDGs
17の目標



施策番号	市民の住宅リフォームを支援する住宅耐震・リフォーム支援事業を推進します。		
2513021			
担当部・課	都市建設部 建築指導課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・住宅耐震・リフォーム支援事業の実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数	件	71	85	91		
今後の取組の方向性	住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業の継続を検討します。						

3 空き家対策

SDGs 17の目標 

施策番号	市内全域における空き家数や、周辺地域に与える危険性の有無などの実態把握を行い、今後の空き家化の予防や解消を図っていくなど、空き家等対策を推進していきます。
2513031	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 外部有識者で構成される空家等対策委員会の開催 庁内関係部署で組織される空き家対策連絡会議の開催 空き家の所有者等を対象に、空き家の売買、相続、管理などに関する空き家相談会の開催 市民から相談が寄せられる空家等相談について所有者に対する適正管理の依頼 空家等解体補助金の交付 空き家啓発パンフレットの配付 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	空家等対策委員会	回	3	3	2		
	空家等相談	件	106	89	67		
	空家等解体補助金	件	-	5	6		
今後の取組の方向性	<p>人口減少社会を迎える中で、空家等対策は継続的な実施が必要になることから、苫小牧市空家等対策計画に基づいた具体的な空き家対策を行う必要があります。</p> <p>また、外部有識者で構成される空家等対策委員会の中で、意見や助言をいただきながら、市民が安全安心に暮らせるまちの実現のため、実効性のある空き家対策を推進していきます。</p>						

4 公園・緑地の整備

SDGs 17の目標  

施策番号	潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出するため、市民の憩いやコミュニティ活動などの場として、地域ニーズや利用形態に配慮するとともに、バリアフリー化や防災機能を備え、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地を整備します。
2513041	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 公園トイレのバリアフリー化と園路整備を実施 (12公園) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公園トイレのバリアフリー化	か所	12	4	12		
	園路の整備	か所	12	4	12		
今後の取組の方向性	<p>今後も、公園施設のバリアフリー化を実施していきます。</p>						

4 公園・緑地の整備

SDGs
17の目標



施策番号	老朽化した施設の計画的な改築・更新により長寿命化を図るとともに、機能充実させることで誰もが利用しやすく親しみやすい都市空間として計画的にリニューアル整備します。
2513042	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 公園のリニューアル整備の実施（8公園） 老朽化した遊具などを更新（14公園） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	リニューアル公園数	か所	155	159	167		
今後の取組の方向性	今後も、老朽化した公園施設の更新や適正な維持管理を実施していきます。						

4 公園・緑地の整備

SDGs
17の目標



施策番号	周辺環境の変化や利用状況に応じた、特色ある公園づくりと適正配置を図ります。
2513043	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 公園のリニューアル整備に際し、こどもの利用状況（年齢層）や、近隣の公園に設置されている遊具の対象年齢、種類を考慮 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	リニューアル公園数	か所	155	159	167		
今後の取組の方向性	公園の規模や場所、利用状況に応じた公園整備に努めていきます。						

4 公園・緑地の整備

SDGs
17の目標



施策番号	運動施設の中心地であり、また、自然ともふれあえる緑ヶ丘公園は、四季を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる公園として整備します。
2513044	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 緑ヶ丘公園の老朽化した園路を整備						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	スポーツ施設	施設	2	1	-		
	スポーツ施設以外の公園施設	施設	-	-	1		
今後の取組の方向性	四季を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる公園として、関係部局と連携して取組を進めるとともに、適正な維持管理に努めていきます。						

4 公園・緑地の整備

SDGs
17の目標



施策番号	貴重な自然であるウトナイ緑地は、保全を図ることを基本に、市民が親しめる大規模緑地として利用します。
2513045	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 環境衛生部環境生活課との情報共有						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	情報共有		継続	継続	継続		
今後の取組の方向性	ウトナイ緑地を保全する為、関係部局と連携し、情報共有に努めていきます。						

5 緑化の推進

SDGs
17の目標



施策番号	花と緑にあふれた色彩豊かな街並みを創出するため、錦大沼公園内にあるハナショウブ園を整備するとともに、企業・団体など、ボランティアと連携して維持管理を行います。
2513051	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・地域住民や緑化団体による花壇やサクラの維持管理ボランティアに対する支援						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ボランティア活動への支援		継続	継続	継続		
今後の取組の方向性	花と緑にあふれた色彩豊かな街並みを創出するため、企業・団体などのボランティアと連携した維持管理を図っていきます。						

5 緑化の推進

SDGs
17の目標



施策番号	緑化の取組に対する支援のため、町内会等による植樹イベントや花壇整備に対し、花苗・資材の現物支給や植樹帯への花の植え付けに対する助成などにより、緑化活動を促します。
2513052	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・町内会等への緑化資材提供 ・市民団体による緑化活動への助成						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	資材の提供と緑化活動への助成		継続	継続	継続		
今後の取組の方向性	緑化を推進する為、町内会や市民団体に対し資材提供や助成を行っていきます。						

5 緑化の推進

SDGs
17の目標



施策番号	街路・緑地帯の景観を改善するとともに、大木化した樹木の支障枝による交通障害や落葉による清掃の軽減を図るため剪定を行うなど、適正な樹木の維持管理を行います。
2513053	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣刈込 ・樹木剪定 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	適正な樹木の維持管理		継続	継続	継続		
今後の取組の方向性	景観と市民の安全安心を守る為、「苫小牧市樹木維持管理方針」を基に、適正な樹木の維持管理に努めていきます。						

基本施策31 上水道の整備・健全な維持管理

現況と課題

水道事業は今、事業を取り巻く大きな環境変化により一つの転換期を迎えています。これまで拡張を繰り返してきた事業は、水需要量の減少や人口減少の影響により、施設を維持・更新する時代へと変わり、また近年、これまでの常識を覆すような災害が発生するなど、水道事業者は今後起こりうるあらゆる可能性を考え、より厳しい事態に備える必要があります。

しかし、このような施設更新や災害対策事業に多額の費用が必要となることに反して、給水収益は減少を続けています。今後は、より厳しい経営環境において様々な課題に向き合っていかなければならず、一層の効率化を進めるなど経営基盤を強化する必要があります。

基本目標

新たに策定した「水道ビジョン」の基本理念を念頭に、水道事業の経営基盤の安定化を図り、安全でおいしい水を次世代へ継承する取組に努めます。

関連する個別計画

- ・新水道ビジョン実施計画

主要施策

1 新水道ビジョンの推進



施策番号	新水道ビジョンに沿った事業展開により、基本理念である「いつでも・どこでも・おいしい水・未来へつなぐ苦小牧の水道」を実現するため、水道ビジョンの進捗管理を行い、事業推進に努めます。		
2513111			
担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道サービスの持続の確保 (老朽化施設の更新) ・安全な水道の確保 (安全な水の確保のための整備) ・強靱な水道の確保 (応急給水体制の充実、水道施設の耐震化、重要給水ルート耐震化) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	水道ビジョンの進捗率	%	12.83	16.63	32.22		
今後の取組の方向性	<p>これまで人口が増加し、拡張事業を繰り返すという環境で発展してきた水道事業ですが、今後予測されている給水人口の減少に伴う水需要の縮小という、これまでと相反する環境で水道事業をどう維持していくかが、重要になっていきます。</p> <p>新水道ビジョンの基本理念である「いつでも・どこでも・おいしい水・未来へつなぐ苦小牧の水道」を実現するため、新水道ビジョンで示した実現方策を確実に遂行することで、水道事業の持続を図っていきます。</p>						

2 施設の老朽化対策

SDGs 17の目標



施策番号	水道水の安定的な供給を持続するため、施設の予防保全管理と計画的な施設更新に努めるとともに、水需要量の減少を踏まえた施設規模の適正化を図ります。
2513121	

担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通鋳鉄管の更新 ・塩化ビニル管の更新 ・硬質ポリエチレン管の更新 ・コンクリート管の更新 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	老朽管更新の進捗率	%	85.21	87.10	89.01		
今後の取組の方向性	<p>老朽化が進んでいる脆弱な管路は、耐震性が低く、地震時の断水被害の可能性が高くなります。また、老朽化した水道管から漏水が増えることで有効率の低下も招きます。新水道ビジョンで示した基本施策である、水道サービスの持続の確保をするためにも、優先度に沿った老朽管更新事業を実施していきます。</p>						

3 災害対策

SDGs 17の目標



施策番号	水道施設の耐震化を推進するとともに、応急給水体制の充実を図るため、実践的な訓練や市民との連携構築など、実効性を高める取組を行います。
2513131	

担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	重要水道管の耐震化						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	浄水場施設の耐震化率	%	84.21	84.21	84.21		
	重要水道管の耐震化率	%	60.91	60.15	60.17		
今後の取組の方向性	<p>近年、極めて大きな地震が相次いで発生しており、大規模な断水が社会生活に与える影響の大きさを改めて認識しました。被害を最小限にとどめる対策としては、浄水場施設及び管路施設の耐震化が挙げられます。浄水場の施設については、他の事業とのバランスも見ながら、R9年度までに100%の耐震化を目指します。災害時に重要となる基幹病院や応急給水拠点に至る重要給水ルートについても、耐震化を優先的に進め、新水道ビジョンで示した基本施策である、強靱な水道の確保に向けて、水道施設の耐震化を実施していきます。</p>						

4 事業の健全経営

SDGs 17の目標						
---------------	--	--	--	--	--	--

施策番号	新水道ビジョンによる中長期的な維持・改築需要の増加を考慮した「経営戦略」に基づき、事業の健全経営に努めます。
2513141	

担当部・課	上下水道部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	「施設の老朽化対策」「災害対策」と当年度純利益の計上を両立させ、「新水道ビジョンの推進」を支える健全経営に努めることができました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	当年度純利益	百万円	151	190	159		
	累積資金収支	百万円	1,777	1,690	1,728		
今後の取組の方向性	施設設備の更新需要が増す中で、累積資金を残しながら新水道ビジョンを推進する、現在の健全経営の取組が今後も継続できるよう、当年度純利益の計上を基本線として財務運営を進めていきます。						

基本施策32 下水道の整備・健全な維持管理

現況と課題

下水道は、衛生的で快適な市民生活を支え、浸水被害から市街地を守る重要なライフラインであり、本市では昭和27年（1952年）に整備を開始し、今では市街地のほぼ全域に普及しました。

今後は、施設の老朽化に伴う事故や処理機能の停止を未然に防止するため、下水道全体を考慮しながら計画的に維持管理や改築更新を実施する必要があります。

また、全国各地で頻発する集中豪雨や大規模地震など、自然災害から市民の安全・安心な暮らしを守るため、今後も大雨対策や耐震化対策を実施する必要があります。

基本目標

安全で快適な市民生活に欠かせない下水道を持続的に確保するため、事業費の平準化やライフサイクルコストの削減を図りながら、計画的に維持管理や改築更新を実施します。

また、継続的に大雨対策や耐震化対策を実施し、安全・安心なまちづくりに努めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市公共下水道事業計画
- ・ 苫小牧市公共下水道事業長寿命化計画
- ・ 苫小牧市下水道ストックマネジメント計画

主要施策

1 施設の老朽化対策

SDGs
17の目標



施策番号	ストックマネジメント計画及び長寿命化計画に基づき、計画的に点検調査を実施し、リスク評価をしながら効率的に維持管理や改築更新を実施します。
2513211	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化計画に基づき、老朽化が進む管渠の改築更新を実施しました。 開削工法：花園町外 φ200～φ700 L=2807.86m 更生工法：双葉町外 φ200～φ700 L=2311.92m 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	老朽管の改築・更新延長	km	7.9	13.2	18.3		
今後の取組の方向性	安全・安心で快適な市民生活に欠かせない下水道の流下機能を確保するため、ストックマネジメント計画及び長寿命化計画に基づき、老朽化が進む管渠や下水処理センター、中継ポンプ場機器の点検調査及び改築更新を実施します。						

2 災害対策

SDGs
17の目標



施策番号	浸水被害を軽減するため、大雨対策を実施します。
2513221	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・10年確率降雨の雨水管整備により、大雨対策を実施しました。 澄川町外 φ250～φ700 L=1264.12m						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	雨水面積整備率	%	74.6	74.7	74.8		
今後の取組の方向性	近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、引き続き10年確率降雨の雨水管整備を実施するとともに、浸水シミュレーションに基づく効果的な大雨対策を講じます。						

2 災害対策

SDGs
17の目標



施策番号	地震時に下水道機能を確保するため、耐震化対策を実施します。
2513222	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・現行の耐震基準に合わせた新設や改築を進め、地震時における下水道の流下機能の向上に努めました。 新設(汚水)：東開町外 φ200 L=475.10m (雨水)：澄川町外 φ250～φ700 L=1264.12m 改築(汚水)：花園町外 φ200～φ700 L=2807.86m						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	下水処理センター・中継ポンプ場の耐震化実施数	施設	6	6	6		
	下水道管の耐震化延長	km	226	234	238		
今後の取組の方向性	地震時における下水道の流下機能を確保するため、下水道管渠や下水処理センター、中継ポンプ場において、被災時に下水道が有すべき機能(人命、揚水、消毒機能)の優先度や今後の改築事業を考慮し、段階的に進めていきます。						

3 事業の健全経営

SDGs 17の目標						
---------------	--	--	--	--	--	--

施策番号	ストックマネジメント計画等による中長期的な維持・改築需要の増加を考慮した「経営戦略」に基づき、事業の健全経営に努めます。
2513231	

担当部・課	上下水道部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	「施設の老朽化対策」「災害対策」と当年度純利益の計上を両立させ、下水道機能の確保を支える健全経営に努めることができました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	当年度純利益	百万円	625	559	667		
	累積資金収支	百万円	1,375	1,439	1,501		
今後の取組の方向性	施設設備の更新需要が増す中で、累積資金を残しながら下水道機能を確保する、現在の健全経営の取組が今後も継続できるよう、当年度純利益の計上を基本線として財務運営を進めていきます。						

基本施策33 道路の整備

現況と課題

道路は、人や車両を安全・円滑・快適に通行させる交通機能と緑化や景観形成等の空間機能を有し、これまで市政発展や市民生活の向上に大きく寄与してきました。

主要幹線道路は、広域的な交流や物流の活性化などの社会・経済活動を支えるほか、災害時の医療搬送や救援物資を運ぶ「命をつなぐ道」として機能しており、道路整備の促進が一層重要になっています。

また、幹線道路・生活道路は、利便性が高い道路交通網の形成や安全で快適な都市生活の実現に加え、新たな利用ニーズに対応した道路整備が求められています。

さらに、老朽化が進む道路や橋梁(きょうりょう)等を計画的に改築・修繕していく必要があります。

基本目標

快適で潤いのある都市生活と、活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たなニーズに配慮しながら促進します。

また、老朽化が進む道路・橋梁(きょうりょう)等の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通の保身に努めます。

関連する個別計画

- ・社会資本総合整備計画（北海道）
- ・道路特定事業計画（北海道開発局・北海道・苫小牧市）
- ・苫小牧市橋梁(きょうりょう)長寿命化修繕計画

主要施策

1 主要幹線道路の整備

SDGs 17の目標	 
---------------	--

施策番号	国道36号、234号、276号の整備促進を要望していきます。
2523311	

担当部・課	都市建設部 道路建設課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道36号 樽前地区の4車線拡幅整備の促進、市中心部における電線類の地中化の促進（最重点要望事項） ・国道234号 沼ノ端跨線橋を含む拡幅整備の促進（最重点要望事項） ・国道276号 緑跨線橋の拡幅整備の促進、高丘地区の4車線拡幅整備及び交通安全対策整備の促進（最重点要望事項） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	国道の主要幹線道路整備は、苫小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である国に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和2年度の取組みについても、引続き本市における最重点要望事項として国に要望しております。						
今後の取組の方向性	今後も引続き、関係機関である国と連携を図りながら、整備促進や新規着工などの要望活動を継続します。						

1 主要幹線道路の整備

SDGs
17の目標



施策番号	道道苫小牧環状線の整備促進を要望していきます。
2523312	

担当部・課	都市建設部 道路建設課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 道道苫小牧環状線の改修						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	道道の主要幹線道路整備は、苫小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である北海道に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和2年度の取組みについても、引続き道道苫小牧環状線の改修や適切な維持管理の要望を行っております。						
今後の取組の方向性	今後も引続き、関係機関である北海道と連携を図りながら、整備促進や新規着工などの要望活動を継続します。						

1 主要幹線道路の整備

SDGs
17の目標



施策番号	苫小牧～浦河間の高規格道路の早期実現を要望していきます。
2523313	

担当部・課	総合政策部 政策推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	関係自治体と構成する高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会として、国や北海道等への要望活動等を実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	他自治体と連携し要望活動を実施		1	1	1		
今後の取組の方向性	胆振・日高地域における広域観光ルートの整備、安全性・高次医療機会の確保、災害時の代替道路の役割等の観点から、日高自動車道の早期整備が必要なため、関係自治体と意見交換や要望活動を実施します。						

1 主要幹線道路の整備

SDGs
17の目標



施策番号	苦小牧中央インターチェンジの早期完成を要望していきます。		
2523314			
担当部・課	都市建設部 道路建設課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 苦小牧中央インターチェンジの設置						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苦小牧中央インターチェンジの設置は、苦小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である北海道に対して行って行くものであり、評価指標を設定することができませんが、令和2年12月13日の開通を以て、本施策は達成したと評価しました。						
今後の取組の方向性	令和2年12月13日に苦小牧中央インターチェンジが開通しました。						

1 主要幹線道路の整備

SDGs
17の目標



施策番号	都市計画道路3・1・2 美沢錦岡通、3・2・16 臨海東通、3・1・504 苦小牧厚真通、(仮称) 苦小牧登別通の道道昇格整備を要望していきます。		
2523315			
担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・道及び関係機関に対する重点要望事項として提出 ・ 苦小牧地方総合開発期成会の要望事項として提出 ・ 北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部 用地管理室 維持管理課 (苦小牧出張所経由) へ要望書を提出 ・ 地元選出北海道議会議員への重点要望事項の説明会の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	都市計画道路3・1・2美沢錦岡通、3・2・16臨海東通、3・1・504苦小牧厚真通、(仮称) 苦小牧登別通の道道昇格整備は要望であり、評価指標 (事業実績) を設定することが出来ません。						
今後の取組の方向性	対象となる4路線の道道昇格整備につきましては、実現に向けて、市の重点要望事項として北海道へ要望しており、引き続き、実現に向けた要望活動を継続してまいりたいと考えております。						

2 幹線道路・生活道路の整備

SDGs
17の目標



施策番号	利便性の高い道路交通網の形成やバリアフリー化など新たな利用ニーズに対応した道路整備を進めます。
2523321	

担当部・課	都市建設部 道路建設課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・未舗装道路の整備						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	道路舗装率(舗装延長/市道延長)	%	85.5	85.9	86.3		
今後の取組の方向性	今後も引続き、未舗装道路の整備促進を図るほか、交通安全対策などにも配慮しながら整備を進めます。						

3 道路・橋梁等の改築・修繕

SDGs
17の目標



施策番号	急速に老朽化する道路や橋梁等を良好な状態に保ち、交通に支障を与えず、安全で円滑な交通を確保するため、改築・修繕を効率的・計画的に進めます。
2523331	

担当部・課	都市建設部 道路建設課、維持課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・橋梁の長寿命化 ・舗装道路の改築・修繕						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	修繕橋梁数	橋	8	10	12		
今後の取組の方向性	今後も、老朽化が進む舗装や道路付属物、橋梁などの改築・修繕、点検などに要する予算が増加することから、効率的・計画的に事業を進め、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、さらなる安全・安心な道路交通網の確保に努めてまいります。						

基本施策34 公共交通の充実

現況と課題

近年のモータリゼーション（自動車が生活必需品として普及すること）の進展や将来人口の減少、少子高齢化など公共交通を取り巻く状況は厳しさを増し、さらには、まちなかの空洞化や郊外型店舗の増加など、生活・交通環境の変化が進みつつあります。このような状況の中で、まちづくりと一体となった効率的で利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。

基本目標

利用者ニーズに対応した公共交通サービスを提供するとともに、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

関連する個別計画

- ・まちなか再生総合プロジェクト（CAP）プログラムパート3

主要施策

1 市内公共交通の充実

SDGs
17の目標



施策番号	市内公共交通については、苫小牧市公共交通協議会等で議論を重ね、鉄道、路線バスなどの利用促進及び利便性の向上を図ります。		
2523411			
担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス等の利用促進に向けたポスターの作成及び公共施設、近隣の駅への掲示 ・鉄道沿線地域での利用促進に関する会議の開催 ・苫小牧市公共交通協議会において、鉄道、路線バスなどの利用促進及び利便性の向上について協議 ・市内路線と買物施設、医療施設、公共施設を記載したバスマップを作製し、翌年度の時刻表に掲載 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	協議会開催回数	回	5	4	4		
	利用促進ポスター作成回数	回	3	5	3		
今後の取組の方向性	公共交通の利用促進及び利便性向上に向けた取組を推進するため、引き続き苫小牧市公共交通協議会や鉄道沿線での会議において議論を重ね、各種施策の実施に努めます。						

1 市内公共交通の充実

SDGs
17の目標



施策番号	市内の公共施設や商業施設と連携した利用者への情報提供など、利用しやすい環境づくりやバス待ち環境改善のため、乗継ポイントとなる交通結節点の整備を促進します。
2523412	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> バス事業者と協働の取り組みとして、バスの乗り継ぎ場所などが分かりやすいよう、バス時刻表にバスマップを掲載（全戸配布） JR苫小牧駅トイレ改修 苫小牧市地域公共交通計画（案）を作成し、パブリックコメントを実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	バス待合所修繕・改修件数	件	4	4	1		
今後の取組の方向性	<p>バス待ち環境の改善、バス乗り場やJR苫小牧駅等交通結節点の整備について調査・検討します。</p> <p>バス時刻表へのバスマップ掲載について、引き続き実施します。</p>						

2 市内公共交通ネットワークの構築

SDGs
17の目標



施策番号	将来人口の減少や少子高齢化社会に向けて、時代のニーズに適応した効率的で持続性の高い公共交通ネットワーク構築のため、「(仮称)苫小牧市地域公共交通網形成計画」を策定します。
2523421	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>令和元年度に行った地域公共交通の問題・課題の整理を基に、令和2年度は、本市におけるバス路線網再編方向性の整理、再編シミュレーションを実施し、「苫小牧市地域公共交通計画」の素案を策定しました。</p> <p>その後、苫小牧市公共交通協議会及び計画検討分科会において協議を重ね、計画（案）を策定し、パブリックコメントを実施しました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	協議会開催回数	回	-	4	4		
	計画策定進捗状況	%	-	50	90		
今後の取組の方向性	<p>令和3年度の計画策定、運用開始に向けて、苫小牧市公共交通協議会において協議します。</p> <p>計画策定後は、協議、検討を行い、計画の基本理念である「将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成」に向けた取組を継続します。</p>						

基本施策35 消防・救急体制の充実

現況と課題

近年、地震や台風、集中豪雨等の自然災害が猛威をふるい、市内全域に甚大な被害が生じており、大規模・複雑多様化する災害に的確に対処するための対策を強化・推進する必要があります。しかしながら、耐震性能を確保されていない消防施設や津波浸水エリアに存する消防施設、また、多くの老朽化した消防車両が存在している状況にあります。火災・救急件数は、増加傾向にあり、今後、消防施設の建替えや消防職団員（消防職員及び消防団員）の効率的な運用や職務能力の向上等により、総合的な消防体制の強化が必要となります。

基本目標

強固な消防体制を維持するため、消防施設の建替えや老朽化した消防車両等の整備及び火災予防体制の強化、さらに、効率的な消防職団員の運用や職務能力の向上を図り、「安全・安心なまちづくり」を目指します。

主要施策

1 消防施設、消防車両・資機材及び消防水利の整備

SDGs
17の目標



施策番号	耐震性能が確保されていない消防署日新出張所の建替えを行います。
2533511	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	消防署日新出張所の建替え工事は完了し、令和2年3月27日から運用開始。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	庁舎解体工事	%	100	-	-		
	庁舎建設基本・実施設計	%	100	-	-		
今後の取組 の方向性	庁舎改築工事（主体、機械、電気）	%	-	100	-		
	関係課と調整を図り、令和2年3月27日から運用を開始しました。						

1 消防施設、消防車両・資機材及び 消防水利の整備

SDGs
17の目標



施策番号	「消防力の整備指針」に基づき、消防車両や資機材等の充実・整備を行うとともに、「消防水利の基準」に基づき、消防水利の整備を図ります。
2533512	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車両等更新（末広1号、勇払分団号、査察自動車） ・救急活動支援端末の購入 ・多言語通訳サービス、NET119緊急通報システムの導入 ・市街地における水利不便地区の消火栓の新設、勇払地区における防火水槽の新設 ・消防職員用防火衣の更新 ・救急活動に必要な訓練用資機材の更新 ・感染対策用備蓄資機材の購入 ・トランシーバーの購入 ・消防団活動服の購入 ・感染防止衣の購入 ・消防用ホースの購入 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防車両等更新	台	3	3	3		
	消防用ホース更新	本	130	130	122		
	防火水槽新設	基	0	1	1		
今後の取組の方向性	<p>強固な消防体制を維持するため、今後も継続して老朽化した消防車両や資機材等の整備を図り、消防体制の向上に努めてまいります。</p> <p>また、消防水利については、消防水利の基準に基づき整備を図るとともに、既存の消防水利についても、耐震化を進めていくなど、より災害に強い整備を図ってまいります。</p>						

2 消防職団員の効率的な運用及び 職務能力の向上

SDGs
17の目標



施策番号	多様化する災害等に迅速に対応するため、救助技術の向上を図ります。
2533521	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との合同訓練を実施 ・救助技術訓練指導会については、コロナ禍により中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	他機関との合同訓練実施	回	7	7	7		
	救助技術訓練指導会参加	回	1	1	0		
今後の取組の方向性	<p>多様化する災害に備え、他機関との合同訓練を継続的に実施し、幅広い知識と技術を習得するとともに、救助技術訓練指導会を通して質の高い救助技術の向上を図ってまいります。</p>						

2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs
17の目標



施策番号	大規模・複雑多様化する自然災害や石油コンビナート等の災害に的確に対応するため、消防職員の職務能力の向上を図ります。
2533522	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・石油コンビナート訓練については、コロナ禍により中止						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	石油コンビナート訓練参加（消防職団員）	人	36	53	0		
今後の取組の方向性	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、大規模・複雑多様化する災害に備え、他機関との合同訓練を継続的に実施し、幅広い知識と技術の習得を図ってまいります。						

2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs
17の目標



施策番号	再編された消防団組織の強化のため、災害対応能力の向上を図ります。
2533523	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・幹部・新入団研修については、コロナ禍により中止						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	幹部研修	人	21	20	0		
	新入団研修	人	17	9	0		
今後の取組の方向性	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、今後は、感染防止対策を講じての実施を検討し、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ってまいります。						

2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs
17の目標



施策番号	緊急消防援助隊登録車両の効率的な運用を図ります。
2533524	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練については、コロナ禍により中止						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加	回	1	0	0		
今後の取組の方向性	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、今後も国家的災害に対応するべく構築された緊急消防援助隊に登録した15車両の取り扱いについて、更なる習熟を図るとともに、他消防本部や他機関と連携をとりながら緊急消防援助隊の応援・受援体制の効率的な体制構築を継続して図ってまいります。						

2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs
17の目標



施策番号	消防学校や消防大学校への派遣研修を行い、消防職団員の職務能力の向上を図ります。
2533525	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 消防学校派遣研修については、コロナ禍により中止						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防学校派遣研修（消防職団員）	人	22	14	8		
今後の取組の方向性	消防学校や消防大学校への派遣研修を行い、消防職団員の職務能力の向上を図ります。						

3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs
17の目標



施策番号	石油コンビナート地区を始め、市内各企業の災害事故防止を図るため、自主保安体制の強化を図ります。
2533531	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全なまちづくりを目指すために、各事業所や地域住民と連携し、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発の実施。 ・石油コンビナート地区をはじめ、各事業所の災害事故防止を図るため、防災指導を行い、立入検査により危険物施設の維持管理状況の確認及び指導。また、国からの事故防止等に関する通知・通達を各事業所へ周知、注意喚起を行い、自主保安体制の強化を実施。 ・危険物安全週間にあつては、市庁舎での懸垂幕掲示、市ホームページへ啓發文掲載、消防署所に安全週間旗・ポスターを掲示するなど危険物の保安に対する意識の高揚と啓発の実施。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災研修会	回	1	0	0		
	苫小牧市危険物規制規則の一部改正等に係る説明会	回	0	0	1		
今後の取組の方向性	従来の取組の他、天災・風水害発生を考慮した危険物施設における保安対策の指導を行い、引き続き災害事故防止体制の強化を図ります。また、各事業所・地域住民に対する危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を行うことで、安心・安全なまちづくりを目指します。						

3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs
17の目標



施策番号	各事業所の災害対策及び消防設備等違反是正対策を推進します。
2533532	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・全消会北海道支部道南地区協議会違反是正推進連絡会（書面会議）の開催 ・消防法令等の違反が認められた防火対象物に対して立入検査を実施し、指摘事項の改善指導、促進又は苫小牧火災予防違反等処理規程に基づき是正の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	道支部道南地区協議会推進連絡会	人	20	19	0		
	道支部道南地区協議会推進連絡会（書面会議）	本部	0	0	9		
	違反公表制度説明会	人	130	25	0		
今後の取組の方向性	違反是正を適切に行うために必要な知識と技術の習得及び予防業務に関する研修等を企画し、人材を育成します。また、予防業務体制の強化を図り、違反対象物を未然に防ぐ取組を検討してまいります。 さらに、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を的確に把握するとともに、その状況に合わせて感染症対策を確実に実施し、上記取組を継続してまいります。						

3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs
17の目標



施策番号	救急救命講習や訓練・防火指導などの開催を積極的に行い、地域住民による救急・防火などの地域防災力を高めます。
2533533	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・市民に対し救急救命講習を行い救急救命普及活動の実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	救急救命講習	回	102	95	82		
今後の取組 の方向性	救急救命講習や訓練・防火指導を行い災害事故防止体制の強化を図ります。また、各事業所・地域住民に対し、救急や防火に対する意識の高揚と啓発を行うことで、安心・安全なまちづくりを目指します。						

3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs
17の目標



施策番号	大規模自然災害に備え、企業・地域住民が組織する自主防災組織等と連携した訓練・防災指導などを推進します。
2533534	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・地域防災マスター認定研修会への参加						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苫小牧市自主防災組織連合会実務研修会	回	1	0	0		
	町内会等の施設見学	回	6	0	0		
	地域防災マスター認定研修会受講者	人	0	11	5		
今後の取組 の方向性	町内会等を通じ防災意識の向上を図ってまいります。						

3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs
17の目標



施策番号	住宅用火災警報器の設置推進を行います。
2533535	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置推進啓発のため住宅防火訪問（火災予防啓発チラシ等の投函）を実施 ・ 維持管理状況の確認及び点検の推進のため戸別訪問（アンケートハガキ等の投函）を実施 ・ SNSを用いた設置推進及び維持管理広報の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	設置推進訪問件数	件	3,049	3,109	3,102		
	維持管理訪問件数	件	237	537	930		
今後の取組 の方向性	<p>住宅火災による死者数の低減を目的に、全ての住宅に住宅用火災警報器が設置されることが求められます。</p> <p>全国的に設置数が伸び悩む中、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、直接的な啓発が難しくなっていますが、SNS・チラシ等を用い住宅用火災警報器の必要性を粘り強く伝えていきます。</p> <p>また、適切な維持管理の推進により、安全な暮らしを継続してもらえるよう努めていきます。</p>						

基本施策36 防災体制の充実

現況と課題

一般的に災害は、航空機事故や石油タンク火災などの人的災害と火山噴火、地震、津波や風水害などの自然災害に大別されますが、いずれも本市の災害要因になるものです。

近年の異常気象や東日本大震災など大規模災害の教訓を踏まえ、被害の最小化を主眼とする「減災」の考えに基づき、各種計画やマニュアルの作成・見直しを適宜行うほか、緊急情報発信の強化などに取り組んでいます。

今後、災害対応力を更に強化するため、防災関係機関との連携・情報共有を進めるとともに、防災訓練の実施などにより、市民一人ひとりの防災に対する意識の向上を図る必要があります。

また、建築物の耐震化を図ることにより、安全性の向上を促進する必要があります。

基本目標

防災の最大の目標は、災害から住民の生命や財産を保護することです。そのために多様化する災害に対応することを目的として、防災関係機関や市関係部局、さらには、自主防災組織などの住民組織と連携した総合的な防災体制の確立を図ります。

また、地震等による建築物の被害から市民を守るため、建築物の耐震性能を向上させ、安全・安心な生活を確保することを目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市地域防災計画
- ・ 苫小牧市耐震改修促進計画

主要施策

1 防災体制の整備・充実

SDGs 17の目標	 
---------------	--

施策番号	国や北海道の動向を踏まえて、「苫小牧市地域防災計画」などの各種計画の見直しを進めます。
2533611	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年に発生した胆振東部地震を踏まえた地域防災計画の見直し事務に着手するとともに関連するマニュアル等について修正しました。 ・ 災害対策本部事務分掌について、実情に合わせ修正を行いました。 ・ 樽前山火山防災計画の見直し事務に着手しました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各種計画の見直し		上昇	上昇	上昇		
今後の取組の方向性	地震、土砂災害、火山噴火など全国的な大規模災害の発生を受け、国において災害対策基本法等が改正されるなど、災害対策の見直しが着実に進められています。こうした状況を踏まえ、本市においても「減災」への取組を推進するため、地域防災計画をはじめとする各種計画や災害対応マニュアル等の見直しを適宜行い、市民の安全・安心の確保に努めます。						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	「苦小牧市地域防災計画」に基づき、災害種別や地域性を考慮した防災訓練を実施します。		
2533612			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	実施項目なし						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	総合防災訓練参加人数	人	-	400	-		
	住民避難訓練参加人数	人	64	-	-		
	社会福祉施設等防災避難訓練参加人数	人	317	-	-		
今後の取組の方向性	<p>本市における災害対応力をさらに強化するため、各種災害に着目した防災訓練の実施などにより市民一人ひとりの防災に対する意識の向上に努めます。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により住民避難訓練等は実施に至りませんでした。防災関係機関や市関係部局、地域との連携強化に防災訓練は欠かせないことから、訓練規模など実施可能な訓練手法を検討し、防災体制の確立に努めます。</p>						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	自主防災組織を育成するとともに、一人暮らしの高齢者や障がい者などに対する避難行動要支援者支援対策を推進します。		
2533613			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織への活動助成として、防災訓練や感染症対策等の経費の2分の1で3万円を上限に、27団体へ770千円の助成金を交付しました。 避難行動要支援者対策として、要支援者名簿の提供町内会の拡大に向け、未提供町内会に周知文を送付いたしました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自主防災組織の組織率	%	89.11	90.08	89.21		
	避難行動要支援者名簿の提供	町内会	40	43	44		
今後の取組の方向性	<p>自主防災組織の未結成町内会へ結成支援を引き続き進めるとともに、具体的な活動事例を積極的に紹介するなど、自主防災組織の活動が継続的に実施できるよう活動促進に向けたサポートに努めます。</p> <p>地域における避難支援体制を構築するためには、平常時から支援される人と支援する人の信頼関係を深めておくことが重要です。今後も相互にコミュニケーションが図られるよう地域での防災訓練の開催や町内会等の支援者へのきめ細やかなサポートを継続します。</p>						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	防災関係機関相互の情報の共有化と、地域住民への防災情報の提供及び防災に関する出前講座を実施します。		
2533614			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座（2町内会、2団体 計136名） ・ 防災メール（登録型）周知カードの配布及び防災情報収集手段の紹介（出前講座等） ・ 市民防災講座については新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災出前講座	回	56	45	4		
	市民防災講座受講者数	名	219	246	-		
	防災メール登録者数	名	3,301	3,975	4,582		
今後の取組の方向性	<p>住民が迅速に避難行動を取れるよう、様々な媒体を活用し災害情報を迅速かつ的確に伝達する必要があります。</p> <p>この情報を住民が的確に取得することは、安全な避難行動につながることから、出前講座など様々な機会を捉え普及啓発を図り、地域防災力の向上に努めます。</p> <p>また、当面は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまでと同様の出前講座を開催することは難しいことから、少人数での開催や講座開催回数の調整等により感染防止策にも配慮した形での開催に努めてまいります。</p>						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	防災フロアを拠点として、防災関係機関の連携を強化するとともに、平常時には地域住民の防災活動や防災教育を進め、防災意識の向上に努めます。		
2533615			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に防災フロアに参集する防災関係機関との連携訓練や協議 ・ 町内会など地域住民への防災説明会、防災計画等の作成支援 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災関係機関との連携		上昇	上昇	上昇		
	地域住民の防災意識の向上		上昇	上昇	上昇		
今後の取組の方向性	<p>災害から市民の生命を守るため、防災関係機関とのさらなる連携強化を図り、災害時の対応を円滑に進めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら住民への防災教育を進め自助の向上を図り、地域の防災力の強化につなげ、連携強化された防災関係機関との相互協力のもと、地域の安全安心の拡大に努めます。</p>						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	防災行政無線のデジタル化と屋外スピーカーなどの設置場所の拡大により、迅速で確実な情報伝達体制を整備します。
2533616	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	安定した情報伝達手段の確立のため、市西部に25基設置している屋外スピーカーを市内全域127基（電波送信専用柱を含め全158基）へ拡大整備しました。また、これまで職員が手動で行っていた緊急速報メール、市ホームページ、市公式FACEBOOKによる配信を防災行政無線と連携し、自動化することにより、より迅速に市民に情報伝達することが可能になりました。また、デジタル化した戸別受信機を希望者・施設等へ貸与しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	情報伝達体制の整備		上昇	上昇	上昇		
今後の取組の方向性	屋外スピーカーの放送がより確実に伝わるよう、運用面での改善に取り組みます。また、防災メールの登録促進や戸別受信機の普及促進を図るとともに、災害時においてこれらが円滑に活用できるよう、迅速・確実な情報伝達体制を構築していきます。						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	防災備蓄品の整備及び民間事業者等との災害時応援協定の締結を推進します。
2533617	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧災害時備蓄計画に基づき、食料・資機材を整備 ・ 避難所の感染症対策のため、国交付金を活用し、マスク、消毒液、ダンボールベッド等を整備 ・ 災害時応援協定締結（施設協力、役務協力） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	備蓄品充足率	%	79	90	92		
	協定締結数	件	55	59	64		
今後の取組の方向性	引き続き国、道の交付金等の活用により、計画的な備蓄品整備を進めるとともに、民間企業等との応援協定の締結を促進し、災害時において必要な備蓄品の確保に努めます。また、備蓄品目の見直しや平常時の活用方法などについても研究してまいります。						

1 防災体制の整備・充実

SDGs
17の目標



施策番号	「苫小牧市国民保護計画」に基づく避難計画を作成します。		
2533618			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	「国民の保護に関する基本方針」の変更及び北海道国民保護計画の一部変更などを受け、苫小牧市国民保護計画の変更に着手しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	避難計画作成		上昇	上昇	上昇		
今後の取組 の方向性	コロナの影響により昨年度に続き関係機関と顔の見える関係を構築する機会が減少しているなか、連携・協力体制を維持するとともに、様々な個別事案に対応できる計画の作成に向けて研究してまいります。						

2 災害の未然防止

SDGs
17の目標



施策番号	防災関係機関と連携して、石油コンビナートなどへの立入検査を行います。		
2533621			
担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	北海道石油コンビナート等防災本部合同立入検査の実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	立入検査実施数	事業所	4	6	3		
今後の取組 の方向性	防災活動の必要性が高い特定事業所を重点的に立入検査することで、防災対策の緊急性の有無を確認し、関係機関と情報共有を図るとともに、有事の際には連携し対応にあたります。						

2 災害の未然防止

SDGs
17の目標



施策番号	「苫小牧市耐震改修促進計画」に基づいて、公共、民間の建物の耐震化を進めます。
2533622	

担当部・課	都市建設部 建築指導課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震改修等補助金交付事業の実施 ・木造住宅無料耐震診断の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数	件	0	0	0		
	木造住宅無料耐震診断の利用件数	件	3	1	1		
今後の取組の方向性	<p>地震等による建築物の被害から市民を守るため、建築物の耐震性を向上させ、安全・安心な生活を確保することを目指します。</p> <p>今後も「苫小牧市耐震改修促進計画」に基づいて、公共、民間の建物の耐震化を進めます。</p>						

基本施策37 河川・海岸の保全と河川の環境整備

現況と課題

近年、多発する大雨により、道路冠水や浸水被害が発生しているほか、河川施設の老朽化が進行しているため、改修やしゅんせつなどによる流下能力の充実と保全が求められます。また、整備に当たっては地域の特性と自然との調和のとれた川づくりも必要となります。

さらに、高潮・波浪などによる侵食や浸水災害を防止するため、海岸保全対策が求められています。

基本目標

河川や排水路における治水機能の充実と、地域の特性をいかした水辺空間の創出と保全を図り、良好な河川の形成を目指します。

また、高潮・波浪などの浸水被害を防止するため、海岸保全対策の促進について関係機関との連携を図ります。

主要施策

1 河川・海岸の保全

SDGs
17の目標



施策番号	二級河川や胆振海岸の整備促進を要望していきます。
2533711	

担当部・課	都市建設部 維持課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・二級河川の整備促進、維持管理（重点要望事項） ・胆振海岸保全施設整備事業の促進（重点要望事項） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	二級河川や胆振海岸の整備促進・維持管理は、苫小牧市が自ら事業主体となって整備などをするものではなく、整備促進などの要望を事業主体である国や北海道に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和2年度の取組についても、引続き本市における重点要望事項として国や北海道に要望しております。						
今後の取組の方向性	二級河川については、市街地における豪雨に対する市民生活の安全確保につながるほか、適切な維持管理や環境整備を行うことで、市民の生活環境や景観が改善され、流下能力が確保されることから、北海道に対し、本市における重点要望事項として引き続き要望してまいります。 胆振海岸については、海岸侵食を防止することで、市民生活の安全確保につながるほか、波の打上げや越波による振動・騒音などの軽減、市民の憩いの場となる海辺の環境を創出することから、国に対し、本市における重点要望事項として引き続き要望してまいります。						

1 河川・海岸の保全

SDGs
17の目標



施策番号	市が管理する河川・排水路の改修やしゅんせつにより、流下能力の充実と保全を図ります。
2533712	

担当部・課	都市建設部 維持課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した既設護岸の改良 ・河口部における侵食対策としての護岸整備 ・流下能力確保のための河道しゅんせつ 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川や排水路などの機能保全した河川数	本	5	5	5		
今後の取組の方向性	<p>河川管理施設の改良を行うことは、集中豪雨による河川被害などを防止・軽減し、市民の安全・安心な生活に寄与するものです。 今後も引き続き護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力の確保に努めてまいります。</p>						

2 河川の環境整備

SDGs
17の目標



施策番号	地域の特性をいかした水辺空間の創出と保全を図ります。
2533721	

担当部・課	都市建設部 維持課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・散策路等の整備、改良 ・河道内の改良による景観の改善 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川環境を整備した河川数	本	2	2	2		
今後の取組の方向性	<p>河川環境の整備を行うことは、緑豊かな水辺空間の創出を図り、良好な住環境の形成に寄与するものです。 今後も引き続き、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の自然環境を身近に感じる河川の整備に努めてまいります。</p>						

基本施策38 交通安全の推進

現況と課題

本市の交通事故発生状況は、事故発生件数、負傷者数は減少傾向となっておりますが、死者数においては、8人前後で増加と減少を繰り返す状況となっております。

更なる交通事故削減に向けた取組としては、道路交通環境の改善や自動車安全性能の向上などが期待されます。その一方で、交通モラルの低下などにより、交通弱者である子どもや高齢者が犠牲となる交通事故や、高齢化の進行に伴い、高齢運転者による交通事故の増加などが懸念されます。

基本目標

「交通事故のない安全で安心なまち とまこまい」の実現を目指し、地域に根ざした交通安全教育の充実と広報活動や交通安全施設の整備促進に努めます。

関連する個別計画

- 交通安全実施計画

主要施策

1 交通安全の教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	幼児から高齢者に至るまで、幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や体験会を開催し、交通安全ルール・マナーの向上に向けた教育を充実させます。
2533811	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	【交通安全教室の実施回数】 ・幼稚園・保育園 85回 ・小学校 50回 ・老人クラブ 6回 ・町内会 2回 ・交通安全母の会 1回 ・その他 3回						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通安全教室実施回数	回	339	321	147		
	交通安全教室参加人数	人	23, 227	22, 208	9, 107		
今後の取組の方向性	幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や、自動車運転シミュレーターを活用した高齢運転者対象の体験型の教室は、交通ルールやマナー、モラルを理解する重要な機会であり、交通安全の一助となるよう継続してまいります。						

1 交通安全の教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	参加型・体験型・実践型の教育方法により、関係機関や団体、地域社会及び家庭が連携をとりながら、地域ぐるみの活動を推進します。
2533812	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童へ交通安全啓発グッズの配布 ・登下校時の見守り ・交通安全教室の実施 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通安全教室実施回数	回	339	321	147		
	交通安全教室参加人数	人	23,227	22,208	9,107		
今後の取組 の方向性	<p>交通事故の抑止は、市民一人ひとりが交通ルールとマナーの自覚の上で、達成できるものです。</p> <p>幼児から高齢者までの各年代に応じた交通安全教室を繰り返し実施することにより、交通ルール・マナーの浸透を図り、交通事故の抑止に繋がります。</p> <p>また、地域及び家庭と連携を図りながら、登下校の指導・見守りなど地域に密着した取り組みを進めてまいります。</p>						

2 交通安全に関する普及啓発活動の推進

SDGs
17の目標



施策番号	市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しいマナーを身に着けるために、関係機関・団体が連携して、市民運動としての交通安全運動を実施します。
2533821	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・期別の交通安全運動実施 ・セーフティコールについては新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施 ・一斉パトライト作戦実施(通行車両に対し安全走行を呼びかける) ・大型店における街頭啓発の実施(交通安全啓発のチラシの配布と夜光反射材の普及活動) ・交通安全広報活動(市広報車での飲酒運転根絶など) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	セーフティコール(旗の波)参加人数	人	1,995	2,170	100		
	一斉パトライト作戦	回	6	12	12		
	大型店街頭啓発	か所	8	8	5		
今後の取組 の方向性	<p>市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通事故撲滅の気運を高めることを目的に、関係機関・団体と連携を図り、市民自ら参加する交通安全運動を継続してまいります。</p>						

2 交通安全に関する普及啓発活動の推進

SDGs
17の目標



施策番号	交通安全運動の実施に当たっては、事前に趣旨、期間重点項目を広く周知し、市民参加型・市民本位の運動を展開することにより、交通事故撲滅を目指します。
2533822	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・関係機関、関係団体との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種運動の開催が制限された中、セーフティコールを実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通事故発生件数	件	430	402	364		
	セーフティコール(旗の波)参加人数	人	1,995	2,170	100		
今後の取組の方向性	市民参加型の運動を展開することにより、交通安全について直に考える良い機会と考えており、今後も継続して交通事故撲滅を目指します。						

3 道路交通環境の整備促進

SDGs
17の目標



施策番号	市民を事故から守るため、事故多発・危険箇所を点検し、交通安全施設などの整備に努めるとともに、信号機や一時停止等の規制標識設置について関係機関に要望します。
2533831	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市が設置する、道路交通環境整備については、カーブミラーの設置(3基)、横断歩道灯(3基)更新を計画的に進めました。 ・北海道公安委員会が管轄する交通安全施設整備については、定周期式信号機(1基)、青矢印式信号機(1か所)、横断歩道の増設(1か所)、通学路における歩行者用灯器(4か所)が設置されました。 ・北海道公安委員会が設置する信号機や規制標識については、関係機関に要望しました。 						
評価指標 (事業実績)	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	カーブミラー設置	基	1	1	3		
	スクールゾーン看板(大・小)	基	16	10	0		
横断歩道灯更新	基	4	4	3			
今後の取組の方向性	市民を交通事故から守るため、事故多発地帯や危険箇所を点検し、交通安全施設整備に努めるほか、北海道公安委員会が設置する信号機や一時停止標識については、要望を継続していきます。						

基本施策39 防犯対策の推進

現況と課題

近年、本市における年間の犯罪認知件数は減少していますが、小学生や中学生を狙った声かけ事例や高齢者に対する詐欺行為など、犯罪の巧妙化、低年齢化が進み、依然大きな社会問題となっています。これらの背景には、都市化や核家族化の進展に伴う地域住民の連帯意識の希薄化などがあげられます。

平成27年（2015年）に「苫小牧市総合防犯計画」を策定し、市民や事業者が安心して暮らせる市民生活の確立を目指し、市民の自主的な防犯活動への支援や防犯に配慮した環境の整備などを進めています。今後も、地域と行政が一体となって犯罪予防対策を強化するとともに、地域における防犯意識の向上を図る必要があります。

基本目標

暴力や犯罪から守られて、安心して暮らせる市民生活の確立を目指し、家庭、地域、学校、関係機関や団体と行政が一体となって防犯に関する広報及び啓発活動や防犯活動を推進していきます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市総合防犯計画

主要施策

1 犯罪予防対策の強化

SDGs
17の目標



施策番号	犯罪が起きにくいまちをつくるため、町内会などと連携を図り、防犯に配慮した環境の整備を推進します。また、再犯防止に向けた取組についても、国の再犯防止推進計画を踏まえ関係部局や関係機関と連携して進めます。
2533911	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	夜間における治安維持及び交通安全の確保等を図るため、生活道路や幹線道路の街路灯設置と整備等や町内会への補助を行いました。 国及び北海道の再犯防止推進計画に基づき、国等から示される再犯の防止等の推進に向けた取組について、関係部局と情報の共有化を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	街路灯設置補助数	基	21	33	22		
	街路灯設置	基	47	17	25		
	地域巡回防犯パトロール	回	17	15	5		
今後の取組の方向性	町内会等の要望に対応し、治安の維持や交通安全を確保し安全・安心な地域の環境整備に向け、継続的に支援します。 国及び北海道の再犯防止推進計画に基づき、国等から提供される犯罪をした者等に必要な情報や知見等について関係部局と情報共有をするとともに、苫小牧市地域福祉計画をとおして情報の共有、施策の促進を図ります。						

1 犯罪予防対策の強化

SDGs
17の目標



施策番号	市民や事業者、関係機関と連携・協働し、広報及び啓発活動等による防犯に関する意識の高揚を図るとともに、地域の安全は地域で守るという観点から自主防犯組織等の活動を支援します。
2533912	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに特殊詐欺や不審者等の犯罪情報を掲載（随時） ・自主防犯組織の活動紹介記事等を掲載した防犯だよりを隔月に発行 ・市庁舎に防犯懸垂幕を掲出（5種類） ・自主防犯パトロール組織等に防犯パトロール用具を貸与（ドライブレコーダー11台、青色回転灯6台） ・特殊詐欺や不審者などの被害防止を訴える特製マグネットシートを公用車に取り付け、高齢者や子ども等に注意喚起の実施 ・町内会等と地域の警戒箇所に関防犯看板等を設置（防犯のぼり90基・防犯看板5基） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	犯罪認知件数	件	1,098	1,028	660		
今後の取組の方向性	<p>犯罪を未然に防ぎ、安全・安心な地域を実現するためには、市民等の防犯に関する意識の高揚が必要です。</p> <p>地域をよく知る自主防犯組織等に対して、防犯に関する情報を提供するとともに活動に必要な用具を貸与し、地域の安全を地域で守る活動を継続して支援してまいります。</p>						

1 犯罪予防対策の強化

SDGs
17の目標



施策番号	暴力や犯罪から守られて、安心して暮らせる市民生活の確立を進めるために、防犯協会や関係機関と連携の下、暴力追放運動を促進します。
2533913	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>暴力追放運動を促進するため、苫小牧地区暴力追放運動推進協議会及び苫小牧市防犯協会と連携して、令和元年度まで行っていた「歳末地域安全運動市民パレード」を、より多くの市民が参加しやすく、さらなる暴力追放運動の促進、意識の向上を図る事を目的に「歳末地域安全運動市民集会」に変更して実施を計画をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施に至りませんでした。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	犯罪認知件数	件	1,098	1,028	660		
今後の取組の方向性	<p>暴力団を排除し、市民の安全な生活を確保して社会経済活動の健全な発展に資するために、引き続き、防犯協会や関係機関と連携して各種暴力追放運動を促進し、意識の向上を図ります。</p>						

2 防犯体制の充実

SDGs
17の目標



施策番号	居住地域が広域化する中、警察体制の充実とパトロール強化のため、地域と連携を図りながら警察署交番の増設等を関係機関に要請します。
2533921	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	ときわ・澄川地区への交番新設要望活動を、北海道警察本部及び苫小牧警察署に行いました。さらに、「国・道及び関係機関に対する重点要望事項」として関係機関に働きかけました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	要望活動の実施	回	1	1	1		
今後の取組の方向性	地域と連携を図りながら、引き続き交番増設等の要望活動に取り組むとともに、北海道警察本部では地域交番の老朽化による改築等が検討されている段階であることから、苫小牧警察署との対話を強化しながら実現への可能性を模索してまいります。						

基本施策40 消費生活の安定

現況と課題

市民の消費生活を取り巻く環境は、多種多様な商品やサービスの選択肢が広がり利便性が向上する一方で、取引方法が複雑化・多様化し、消費者の知識・経験不足につけ込まれた消費者被害が発生しています。今後も多様化やグローバル化が見込まれる消費生活に対応するため、必要な情報を的確に判断し、自ら行動できる消費者の育成や社会の形成を図り、安全・安心な生活必需品などの安定供給に努める必要があります。苦小牧市公設地方卸売市場を取り巻く環境については、少子高齢化時代を迎え、生活慣習の変化や流通の多様化などから取扱高の低迷が予想されるとともに、施設についても老朽化、狭あい化が進んでいます。将来を見据えた経営戦略的な視点から方向性を定め、必要な取組を検討し、実効性のある体制構築が求められています。

基本目標

安全・安心な消費生活を実現するために、消費者意識の向上と消費者の保護、生活必需品などの安定供給を図ります。また、苦小牧市公設地方卸売市場においては、北海道の地域拠点市場として将来を見据えた経営展望を策定・推進します。

関連する個別計画

- ・ 苦小牧市消費者教育推進計画
- ・ 苦小牧市公設地方卸売市場経営展望（策定予定）

主要施策

1 消費者意識の向上

SDGs
17の目標



施策番号	消費生活情報の提供に努めるとともに、消費生活展、消費生活講演会などを行い、消費者意識の向上を図ります。
2534011	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	消費生活展 : コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止(10月) 消費生活講演会 : テーマ「種苗法改定と食の安全安心」(2月6日) パネル展 : 5月・6月・10月・1月開催 くらしのニュース : 毎月発行(1,960部)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費生活展	人	709	835	中止		
	消費生活講演会	人	30	39	22		
今後の取組の方向性	消費生活展及び消費生活講演会を開催することにより、暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図ります。 毎月のくらしのニュースでは、消費者問題に関する情報、消費生活に関連する行事や講演会のお知らせなど、くらしに役立つ身近な情報も提供していきます。						

1 消費者意識の向上

SDGs
17の目標

施策番号	消費者団体を育成強化し、自主的な活動を支援します。
2534012	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	苫小牧消費者協会への補助金支出						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	学習会やセミナー等の開催回数	回	10	11	3		
今後の取組の方向性	苫小牧消費者協会の設立趣旨は、消費者に対して消費者としての正しい知識を普及啓蒙し、消費者の利益の保護と消費生活の向上を図ることとなっていることから、消費者意識の向上に繋がる活動を支援します。						

1 消費者意識の向上

SDGs
17の目標

施策番号	消費者の自立を支援するために、消費者教育を推進します。
2534013	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	啓発リーフレットの配布：小学5年生（約1,500人） ： 中学3年生（約1,500人） ： 高校2年生・専門学校生（約1,700人） 出前講座の実施：一般・高齢者向け8回（介護事業所、包括支援センター、老人クラブなど） 若者・学生向け5回（専門学校、高校、中学校など）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	出前講座	回・人	22・726	33・1009	13・854		
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政と教育行政、他の行政機関や関連する多様な機関・団体との情報交換を進め、連携を強化します。 ・高齢者を中心とした幅広い啓発活動の継続と併せ、特に、若年層への啓発活動として、校内パネル展や街頭啓発などを通じた啓発を行い、消費者被害の未然防止を図ります。 ・出前講座が様々な年代や場において利用が拡大するように各主体への働きかけを強化するとともに、身近でタイムリーなトラブル事例を題材とするなど講座内容を充実していきます。 						

1 消費者意識の向上

SDGs
17の目標



施策番号	省資源、省エネルギーの啓発に努めるとともに、リサイクルの促進を図ります。
2534014	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤル交換市の業務を苫小牧消費者協会に委託 ダイヤル交換市は、「物を大切にし、物を生かす生活」を目的に、各家庭で使用しなくなった生活用品の有効活用を図っています。 ・家庭の燃料等の消費節約実態アンケート調査の実施 省資源、省エネルギーの啓発に努めます。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ダイヤル交換市利用者件数	件	1,088	1,265	1,651		
今後の取組 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤル交換市は、消費者の節約やリサイクル意識の向上に繋がる事業として継続していきます。 ・アンケート実施により一般家庭の節約意識や燃料消費の実態を把握・分析し、市民の省資源・省エネルギー意識を高める施策への活用策について検討を進めます。 						

2 消費者保護

SDGs
17の目標



施策番号	多様化する消費生活相談に対応するために、消費者センターの相談体制の強化に努めます。
2534021	

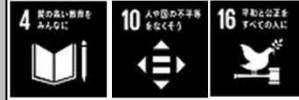
担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>消費生活相談員等の更なるスキルアップの為の研修に参加を支援することにより、新規相談員の基礎スキル取得により消費生活センターの相談対応能力の強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国民生活センター : 4回 ・北海道主催 : 6回 ・一般社団法人北海道消費者協会主催 : 1回 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	相談員研修参加支援	回	12	12	11		
今後の取組 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会へ相談員の派遣を行い、年々高度化・複雑化する消費生活相談への対応能力のレベルアップを図るとともに、専門家（弁護士・司法書士）や法テラスとの連携や関連知識の習得も図ります。 ・これまでの来所と電話による相談だけでなく、電子媒体を活用した相談など相談者の利便性を向上し、相談しやすい環境づくりに努めていきます。 						

2 消費者保護

SDGs
17の目標



施策番号	悪質商法や不正金融などの消費者被害を防止するために、関係機関との連携を図ります。
2534022	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	保険年金課との連携 : 75歳以上の被保険者に啓発リーフ同封 (23,000部) 社会福祉協議会との連携 : 「おうちで楽しめーる便」新型コロナ注意喚起啓発 (3,000部) : 社協だより10月号に消費者センターの周知広告 (全戸配布) 金融機関との連携 : 本庁舎1階ATMに啓発グッズ設置 (労金・北洋・ゆうちょ銀行) タクシー会社との連携 : 車内に消費者センターの周知シール設置 (約300枚) 消費者被害防止ネットワークニュースの発行 (6・12月) 広報とまこまい、市HPを活用し、情報提供を実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費者被害防止ネットワーク構成団体	団体	11	11	11		
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害弱者への見守り強化のため、構成団体間の情報共有と連携強化を促進するとともに、構成団体が有する情報や知識を活用し新たな啓発活動を実施します。 消費者被害防止ネットワークの参加団体を拡充するとともに、「消費者安全確保地域協議会」への位置付けなど、体制の強化に取り組んでいきます。 						

2 消費者保護

SDGs
17の目標



施策番号	不正計量、不当表示による消費者の不利益を防止するために、商店や事業所に立入検査を実施し、計量管理の指導を強化します。
2534023	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	1 立入検査事業所 石油ガスメーター (6戸) 自動車等給油メーター (5戸) 車載燃料油メーター (38戸) 商品量目試買検査 (1戸) 商品量目立入検査 (12戸) 2 計量器定期検査 (284戸)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	立入検査事業所数	戸	70	70	62		
	定期検査事業所数	戸	226	185	284		
今後の取組の方向性	適正な計量の実施の確保をするため、取引・証明に使用される特定計量器 (はかり) の性能及び器差を一定水準以上に維持することを目的に立入検査及び定期検査を実施する。						

2 消費者保護

SDGs
17の目標



施策番号	食料品の安全・安心に関する情報について、関係機関との連携を図り、市民周知に努めます。
2534024	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	消費者庁からの情報を市HPや広報とまこまいで市民に周知。また、パネル展など啓発の催しにおいても情報提供を実施してきました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	イベント等による情報の提供	回	3	2	3		
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国や道など関係機関からの情報は迅速な情報発信に努め、くらしのニュースやホームページ、広報などを活用し市民に広く周知します。 多くの市民が訪れるイベントや催しの場においても、ポスターやリーフレットなどの周知により市民意識の向上に努めます。 						

3 生活必需品などの安定供給

SDGs
17の目標



施策番号	生活必需品などの価格動向調査を行い、調査の結果を消費者に提供します。
2534031	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>生活必需品等の価格動向調査（毎月10日）</p> <p>日常の消費生活に関連性の高い商品（生活必需品）の小売価格及び量目について、定期的に調査を行い、本市における物価の変動や動向を把握しています。</p> <p>食料品店：（11店舗） ガソリンスタンド：（10店舗） 燃料店：（10店舗）</p> <p>年末年始の食料品等価格調査</p> <p>食料品店：（11店舗） 卸売市場：（3社）</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	価格動向調査店舗（毎月）	店	32	32	31		
	くらしのニュース発行部数（毎月）	部	1,710	1,710	1,960		
今後の取組の方向性	調査結果を市民に提供することにより、市民に自主的かつ合理的な消費行動を促すとともに、消費生活の安定及び向上に役立てていきます。						

3 生活必需品などの安定供給



施策番号	適正価格販売の指導など価格安定対策を関係機関に要請します。
2534032	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	E (反映区分の選択になじまないもの)
-------	-------------	------	------------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	令和2年度において、要請事案はありません。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	要請回数	回	0	0	0		
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の価格動向調査をもとに、生活必需品等の価格動向と需給状況を注視していきます。 ・ 適正価格販売の指導や供給の安定確保など、消費生活の適正化を図らなければならない事態が生じた場合は、事業者団体等の関係機関に要請するなど速やかに対応します。 						

3 生活必需品などの安定供給



施策番号	苫小牧市公設地方卸売市場の将来を見据えた経営戦略的な視点から、将来方向とそのために必要な創意工夫ある取組を検討し、実行に移すため、苫小牧市公設地方卸売市場経営展望を策定します。
2534033	

担当部・課	産業経済部 公設地方卸売市場	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苫小牧市公設地方卸売市場経営戦略策定 ・ 管理運営における民間活力（指定管理者制度）の導入 ・ 整備計画に基づく施設整備の実施 <ol style="list-style-type: none"> 1 水産棟整備事業 2 青果棟整備事業 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公設地方卸売市場経営戦略		-	-	策定		
	指定管理者制度導入に係る条例改正		-	-	改正		
	施設整備	千円	-	18,108	52,272		
今後の取組の方向性	<p>苫小牧市公設地方卸売市場経営展望に基づき、具体的な施策を実施します。</p> <p>【主な実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営における民間活力導入（青果・水産物部/R3年度指定管理 花き部/R4年度民間移譲） ・ 水産棟整備事業 ・ 青果棟整備事業 ・ 花き棟整備事業 						